



2階建バス乗車会



7月27日、JR美良布駅で美良布保育園児たちが、JR四国バス株式会社所有の外国製2階建てバス試乗会に参加しました。

園児たちはJR四国バスの職員から車両説明を受け、車内見学をした後、運転席で運転士の帽子を被り、一人ひとり記念撮影をしました。試乗会では美良布駅から川奈路バス停までの往復に乗り、普段見ることのない車の2階からの景色を楽しみました。

試乗会が終わると園児たちみんなにお土産があり、園児たちは大きな声でお礼を言っていました。

犯罪や非行のない 明るい社会をめざして

7月の第70回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、7月1日に香美市役所本庁舎で、社会を明るくする運動推進委員会数名による内閣総理大臣メッセージ伝達式が開かれました。同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、決起集会は中止して、新聞や回覧等での広報を行いました。



▲内閣総理大臣メッセージを法光院市長へ伝達

図書館だより

市立図書館



◆本のお譲り会

図書館での役割を終えた本や、所蔵とならなかった寄贈本などをリサイクル本として、広く市民の方にお譲りする会を行います。児童向けの本から一般図書や雑誌など様々なジャンルの本をお譲りします。

ぜひ来館ください。

※1人10冊まで（無料）

【日時】9月20日（日）

10時～16時

【場所】香美市立図書館

【申込方法】

電話、または来館時に申し付けください。

※開館時間中のみ受付可

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの方が同時に会場を訪れる事がないように、申込時に入場時間を指定させていただきます。

【問い合わせ先】

本館 ☎53・0301

◆図書館発！高知家の

がん征圧月間

9月はがん征圧月間です。図書館ではがんに関する本の展示を行います。

国立がん研究センター発行の冊子や県の啓発リーフレットなどを持ち帰ることが出来ます。この機会にぜひご覧ください。

【期間】

9月30日（水）まで

【場所】

本館・香北分館・物部分館

【問い合わせ先】

本館 ☎53・0301

Pick Up

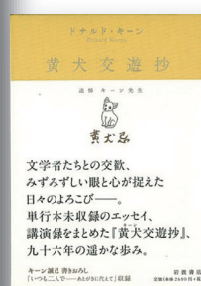
テーブルコーディネートから始まる美しい暮らしのインテリア365日

横瀬 多美保 著
季節ごとのテーマに沿ったテーブルコーディネートやインテリア空間づくりを、写真とエッセイで紹介した目で楽しめる一冊。豊かな暮らしのヒントが散りばめられています。



黄犬交友抄

ドナルド・キーン著
日本文学・文化研究の第一人者である著者の96年の生涯をふり返る。源氏物語との出会い、日本語を学び始めた経緯、三島由紀夫との交友録、講演録など。



読書ルー No.007



楠目小学校
植田留衣さんのオススメ

本好きの下克上
第一部 兵士の娘！
香月 美夜 著

大の本好き女子大生・麗乃が事故に巻きこまれ、気が付くと見知らぬ世界の兵士の娘マインとして生まれ変わっていたというお話です。そこは、本がほとんどない世界。そこで本を手に入れるためにマインは動き出します。そこからどう奮闘していくのか。涙あり、笑いあり、突っ込みあり。アニメ・漫画・ファンブック化もされているシリーズ本です。



香美市民憲章

—平成24年4月1日制定—



前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。

先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

本文 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。

1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。

1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。

1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。

1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。



©やなぎなぎ
香美市イメージキャラクター

香美市森林環境税活用事業

がみんぐBABY木のギフト

『木のギフト』製作現場を訪問！！（その2）

前回に引き続き、『なかよしライブラリー』のお話です。『なかよしライブラリー』（代表：濱田創/土佐山田町宝町）では、環境のことや今後のことにもしっかりと目を向けておもちゃ作りをされています。木のおもちゃはプラスチック製のおもちゃより値段が高くなりますが、木を使うことでゴミを減らすことができます。例えば、製造過程で出るおがくずは、動物園や街路樹の植木などで使うなど、最終的に自然にかえるので環境に優しいそうです。今後はおもちゃで遊ぶだけでなく、環境にも配慮しながら、子どもが遊べる場所を提供したり、遊びの提案をしていきたいと話してくれました。単にモノを作り売るのではなく、木を使ったおもちゃを通して、子どもたちの未来にも目を向けられています。ちなみに、木のおもちゃは廃校になった学校の校舎で作っているそうです。



【問い合わせ先】農林課林政班 ☎52-9283